

表 6 調査研究報告書リスト

TWC Tracer Study 2006
GAD-based Entrepreneurship Development in TVET
A Study of Employment Opportunities for Women in TWC's 12 Trade Areas
Gender Analysis of the 2001-2003 TESDA Assessment and Certification Results in the National Capital Region: A Discussion Paper
Women's Choices, Changing Women's Lives (Part 1-3)
Mainstreaming Gender And Development (GAD) in Technical Vocational Education and Training (TVET)- The TESDA experience
Creating and Migrating to a New Philippines- Profile of selected women entrepreneurs
Data and Resource Guide Book 2006

#### 情報発信

2004年、TWCの活動の情報を提供する目的でウェブサイトが開設され、ニュースレターが定期的に発行されている。ウェブサイトはTESDAのウェブサイトに統合されホームページから直接アクセスが可能になっている。またTWC卒業生の成功体験やグッド・プラクティスを載せたパンフレットがニュースレターとは別に編集され、配布された。

図書館の利用者数は、増加したが、目標である5,600人/年には届いていない(別添資料12 図書館の利用状況 参照)。TWCの所在地が公共交通(バス、ジプニー等)によるアクセスの困難な場所であることも影響していると思われ、TESDAスタッフや研修生を除く一般来訪者の利用の大幅な増加は困難と思われる。

PDMには記載されていないが、TWCの職員が1ヶ月に2回、TV番組にゲスト出演しており、また平均月4回程度、ラジオ番組のインタビューに答えている。加えて、TWCの活動を紹介する三分間コーナーがチャンネル4にて週4回放送されている。

#### ネットワーク

研修生のOJT受け入れ先として協力したり特定の技術研修に人員を派遣したりするパートナー企業数は2003年の80社から2005年には108社に増加し、OJTの機会及び研修コースへの支援が増加した。(表7 参照)

2004年と2005年には、第三国研修「女性の職業訓練におけるジェンダー主流化(International training program on gender and development based entrepreneurship in Technical Vocational Education and Training)」が実施され(1999年より継続して実施されている)、アジア地域における職業訓練分野の経験共有とネットワークの構築を図った。

PDMに記載されているアジア太平洋地域におけるネットワーク拡大のための国際会議は開催されなかった。おそらくフィリピン政府の財政難の下で会議開催に必要な予算措置がなされなかったものと思われる。

表7 パートナー企業数

分野	分類				計
	OJT	雇用	両方	その他	
Automotive	15	2			17
Electronics	2	4	3		9
Ceramics	2	2			4
Food Processing	2	2	7		11
GTH	3				3
Dress making	5	1	8		14
HRM	17	6	2	1	26
ISMO	1	7	1		9
Jewelry	5	4	2		11
Metal Welding	2	2			4
				計	108

出所：プロジェクト資料を元に評価チーム作成

\*GTH：Gift, Toy, Handicraft

HRM：Hotel and Restaurant Management

ISMO：Industrial Sewing Machine Operation

まとめると、成果4の指標は、図書館の利用者数と国際会議を除いて達成された。しかし調査研究部門の職員削減及び予算減少により、将来のTWCの調査、情報発信機能が危うくなる可能性が憂慮される。

### 3-3 プロジェクト目標の達成度

TWCの訓練、調査研究、啓発の包括的な実施を通じて、TWCで訓練または研修を受けた女性の就業能力が向上する。(Employability, both wage and self, of women trained at TWC is strengthened through integrated research, training, and advocacy activities of TWC)

PDMではプロジェクト目標の達成を図るために3つの指標が設定されている。

#### 卒業生の資格取得率

- 卒業生の資格取得率とは、就業準備訓練コース修了生のうち、NC (national certification 試験) に合格した率で2005年に実施された第14回コース (14 Batch) では100% (目標は80%以上) であった。(参考までに、TESDAによって実施される資格試験の合格率の全国平均は2003年から2005年までそれぞれ47%、58%、48%であった。)

#### 就業率

- 就業率は就業準備コース修了生のうち、コース修了 (OJT 終了) 時に就職先が決定している率で2005年の第14回コース (14 Batch) では61.1% (目標60%以上) であった。(別添資料13 卒業状況 参照)

#### 起業率

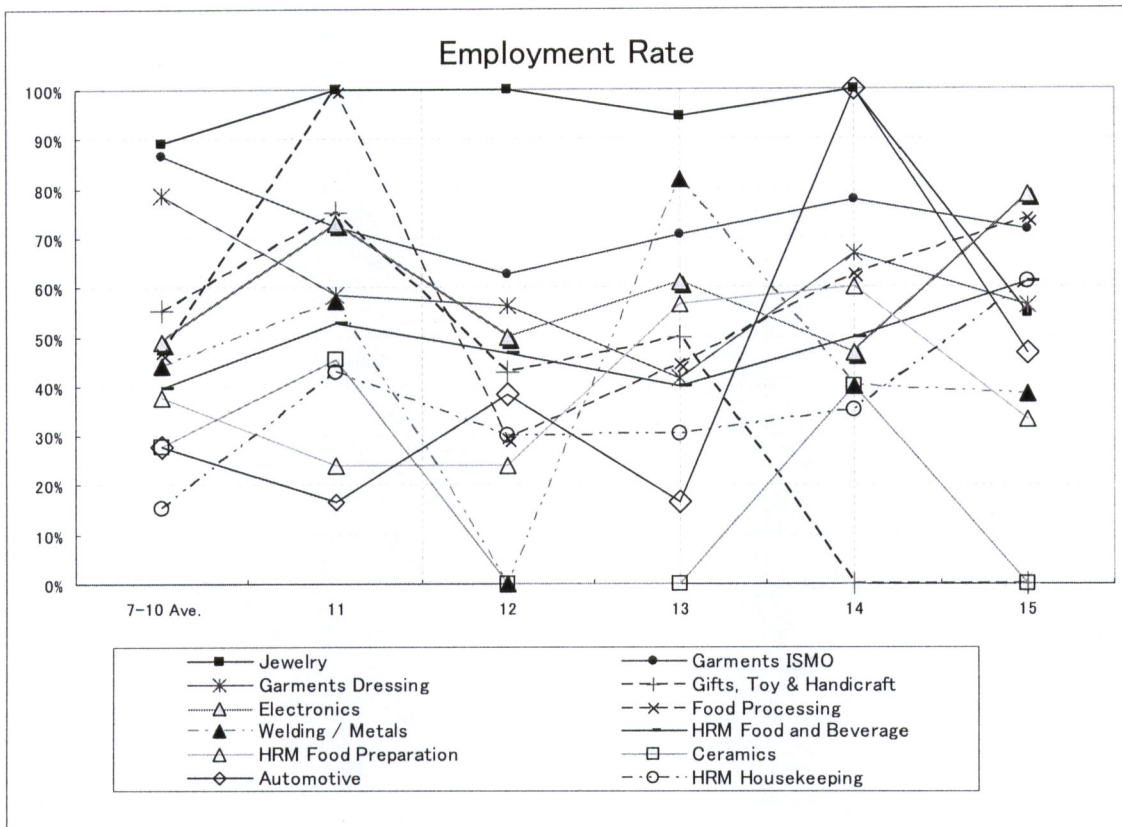
- 起業率とは起業研修コース修了生のコース修了後一年以内に起業した率で、2004年で50%、

2005年で40%（目標は35%以上）であった。

現状、各指標とも達成されているが、就業率は図1に見られるように、研修コース毎に格差があることがわかる。電子機器（Electronics）、工業ミシン操作（ISMO）、宝飾、食品加工、服飾コースの就業率が高い。プロジェクト実施前は、自動車整備や金属・溶接など女性の職場でない（非伝統分野）領域は、女性の就業率は低かったが、雇用者への広報などを通じて向上してきている。

経済状況などにより雇用状況が大幅に変更されない限り、プロジェクト目標はプロジェクト終了時には達成されると思われる。

図1 就業率の変化（Batch 11-15）



出所：プロジェクト資料を元に評価チーム作成

\* ISMO : Industrial Sewing Machine Operation

HRM : Hotel & Restaurant Management

なお、PDMにはプロジェクトの目標としてTWCの訓練機能の強化を通じた卒業生の能力及び就業力の向上を目指している旨が記載されている。しかし、成果1のTESDAジェンダー担当者の研修や成果4の情報提供やネットワークはプロジェクト目標への貢献というよりも以下に述べる上位目標に直接的に貢献している。

### 3-4 上位目標の達成可能性

TWCが訓練、調査研究、政策・施策提言を通じて、女性の経済的エンパワーメントに影響を与

える拠点としての機能を強化する (TWC is strengthened as a center of influence for economically empowering women through training, research and policy recommendation.)

上位目標で示される影響を与える対象が明文化されていないため、様々な解釈（アジア地域、フィリピン全土、職業訓練分野、TESDA、TWC など）がなされていたようである。関係者（専門家およびカウンターパート）に確認したところ、「フィリピンの職業分野における女性の経済的エンパワーメント」であることがプロジェクトにおける認識として合意されていた。評価チームはこれらを元に上位目標の達成可能性を初めとする、評価分析を行った。

PDM にはプロジェクト目標と上位目標の間に明らかな論理的飛躍がある。上位目標は TWC の長期的な目標である政策提言を掲げているが、プロジェクト目標は TWC の卒業生の就業率の向上である。そして前述の通り成果 1 と成果 4 の一部が上位目標の達成に直接貢献している。

「フィリピンの職業分野における女性の経済的エンパワーメント」に関する政策提言の一例として、TWC は TESDA の「GAD イニシアティブ (2006-2010)」の策定に貢献している。このイニシアティブには職業訓練分野の GAD コンセプト、同分野におけるジェンダー主流化に求められる行動が示されている。また「TWC 戦略プラン(2006-2010)」がまとめられ TESDA 本部の承認を待っている。

その他、NCRFW は、TWC や TESDA のデータをフィリピンのジェンダー主流化の資料として活用している。

このまま TWC の訓練、調査研究、情報発信機能が維持されれば、ジェンダー戦略やグッド・プラクティスの普及を通じて、職業訓練分野における女性の経済的エンパワーメントに貢献をすると考えられる。